

講義名	19 - 中国企業論 / 15 - 地域ビジネス研究(中国)			
担当教員	潘 志仁			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
<p>中国経済が改革開放後、驚異的経済成長をしたのはだれでも知っている。そして、その経済成長が、経済の生産活動を担う企業の成長によってもたらされたものであることも確かである。しかし、中国企業の成長についてのわれわれの理解はあまりに貧弱である。中国企業がなぜ急成長できたのか、実際どのように急成長してきたのかを明らかにするのが、この講義のねらいである。</p> <p>本講義はケーススタディを採用したい。「事例は小説より奇なり」というが、本講義を受講すれば、「企業成長の事実は企業成長の理論より奇なり」といいたくなる。本講義を受講することによって、企業成長の理論を読んでわからない経営実態を知ることができる。本講義は次の中国企業をケーススタディとして取り上げるが、途中、講義する順番が変わりうることもあるかもしれない。</p>				
到達目標				
<p>講義の到達目標は、基礎学習を通じて、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中国企業の成長特徴 (2) 中国企業の経営モデル (3) 中国企業経営者のリーダー全体像を把握することができるようになる 				
提出課題				
<p>中間課題 期末課題</p>				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
授業中における講評と解説の実施				
評価の基準				
<p>本講義は、対面型講義です</p> <p>中間課題：40点 期末課題：40点 講義への出席度（質問・発言など）：20点</p> <p>ただし、コロナ拡大時に併行講義方式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない。</p>				
履修にあたっての注意・助言他				
<p>「遅刻する」「授業中の出入りをする」「私語する」、「居眠りをする」と大人の態度と行動を遵守できない学生には、受講を遠慮願う。</p> <p>積極的に質問・発言する学生は、大歓迎する。</p>				

教科書				
・「使用しない」。				
プリント資料及び参考文献				
教材配布				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 躍進する中国企業のブゼセンス 2. 通信機器大手のファーウェイ(1) 3. 通信機器大手のファーウェイ(2) 4. 通信機器大手のシャオミ(1) 5. 通信機器大手のシャオミ(2) 6. 情報通信大手のアリババ(1) 7. 情報通信大手のアリババ(2) 8. 情報通信大手のテンセント(1) 9. 情報通信大手のテンセント(2) 10. 家電大手のハイアール(1) 11. 家電大手のハイアール(2) 12. EV自動車メーカー(1) 13. EV自動車メーカー(2) 14. EV自動車メーカー(3) 15. 中国企業の成長特徴のまとめ 				
<p>企業家精神にあるビジネスモデル 多角化事業戦略 後発型ポジショニング戦略とプロモーション オンラインゲームへの参入と模倣による差別化戦略 外資技術導入と高起点経営 競争システムの人事評価の明確</p> <p>EV自動車メーカーの生産と開発の現状と中国政府の狙い EV用バッテリー開発と充電インフラの整備</p> <p>模倣から創造へ、後発型成長、市場主義型経営</p>				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
ア：PBL（課題解決型学習）				イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート				エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション				カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>予習では、事前に教員が指定する範囲を読んで、「ほんとうかな」、「ちょっとおかしいよ」、「それはちがうじゃないか」とマークをつけて、授業中で質問を用意しておこう（2時間）。</p> <p>復習では、「なにがわかった？」、「なにがまだわからなかったか」と改めて手入、教員に質問しよう（2時間）。</p> <p>上述したような学習目標を達成するためには、予習と復習に必要な4時間を確保してください。</p>				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>(1) に到達することで、中国企業形態の特異性を認識し、中国企業に対する新しい問題意識を把握するようになる。</p> <p>(2) に到達することで、ケース・スタディを通じて中国企業の成長要因とモデルをあらたに捉えるようになる。</p> <p>(3) に到達することで、中国企業の先進事例をとりあげ、それら企業の成長を支える経営者の役割とリーダーとしての旺盛な起業家精神を全体的に捉えるようになる。</p>				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>オールラーニングを重視する講義形式で、学生とのディスカッションをしながら授業を進めていく。質問し、発言する学生に加点ポイントを与える。加点ポイントは、成績に反映される。</p>				
実務経験の有無及び活用				
備考				
<p>オフィスアワー：水曜日13時から17時 研究室メールアドレス：Zhiren_Pan@red.unds.ac.jp</p>				